

**問1** 聖徳太子の死後、中国では隋に代わって唐が統一王朝を築きました。唐が朝鮮半島北部の高句麗を攻撃するなど東アジアの緊張が高まるなか、日本でもその影響を受けて、天皇を中心とする国づくりを目指す政治改革が始まりました。この改革の名称として正しいものを答えなさい。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 大化の改新                      2. 建武の新政                      3. 明治維新                      4. 寛政の改革

**問2** 7世紀後半、朝鮮半島での「白村江の戦い」において唐・新羅の連合軍に大敗した倭（日本）は、大陸からの侵攻に備えて国防を強化しました。この時、西日本の各地に山城を築き、九州の沿岸に「防人」を配置した人物は誰ですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 中大兄皇子                      2. 聖武天皇                      3. 白河上皇                      4. 足利義満

**問3** 飛鳥時代から江戸時代までの重要人物をまとめた記述において、壬申の乱での勝利を通じて即位し、天皇を中心とした国づくりを進めたとされる人物の事績として、最も適切な説明はどれか。（2025年 栃木公立入試 類似）

1. 飛鳥浄御原令の編纂や、日本初の本格的な都とされる藤原京の造営に着手した。  
2. 冠位十二階や十七条の憲法を制定し、家柄にとられない人材登用や政治の心得を示した。  
3. 墾田永年私財法を出し、開墾した土地の永久私有を認めることで農地の拡大を図った。  
4. 律令政治の立て直しを目的として、都を平城京から平安京へと移した。

**問4** 聖徳太子が「冠位十二階」を定めた目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。（2020年 福岡県公立入試 類似）

1. 氏姓制度による世襲制の弊害を抑え、個人の能力や功績に応じて人材を登用することで天皇の権力を強めるため。  
2. 地方の有力な豪族に独自の徴税権を与えることで、中央政府の財政負担を軽減し、地方自治を促進するため。  
3. 武士の忠誠心を高めるための階級制度を整え、大陸からの侵攻に備えた強力な軍事組織を構築するため。  
4. キリスト教の布教を制限し、仏教を唯一の国教として定めることで、民衆の思想を統一するため。

**問5** 現在の福岡県太宰府市周辺には、土を高く盛って作られた巨大な壁と、その外側に水を蓄えた堀の遺構が残っています。この施設が築かれた歴史的背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。  
2. モンゴル帝国（元）の軍隊が九州へ上陸するのを阻止するため、博多湾の沿岸に沿って石造りの壁が築かれた。  
3. 卑弥呼が治める邪馬台国の集落を、周囲の敵対する勢力から守るために深い溝と柵が作られた。  
4. 豊臣秀吉が朝鮮半島への出兵（文禄・慶長の役）を行う際、九州北部の拠点を防衛するために築かれた。

**問6** 701年に制定され、唐の制度を模範として天皇を中心とした中央集権的な政治体制の基礎を確立した法典は何ですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）

1. 大宝律令                      2. 養老律令                      3. 十七条の憲法                      4. 御成敗式目

**問7** 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）らが定めた制度のうち、家柄にとられず、個人の才能や功績がある人物を役人として登用することを目的とした制度を何といいますか。（2026年 静岡県公立入試 類似）

1. 冠位十二階                      2. 氏姓制度                      3. 班田収授法                      4. 憲法十七条

**問8** 8世紀ごろの東アジアの情勢を説明した次の文章において、空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。「中国大陸では（ ① ）が広大な領土を支配しており、その都である長安は国際色豊かな都市として栄えた。また、同時期の朝鮮半島では（ ② ）が半島を統一しており、日本とも活発な交流があった。」（2018年 大分県公立入試 類似）

1. ①：唐、②：新羅                      2. ①：隋、②：高句麗                      3. ①：漢、②：百済                      4. ①：宋、②：高麗

**問9** 大化の改新が行われた際、中国の制度にならって日本で初めて導入され、現代の「令和」に至るまで日本の歴史の中で継続して使われている制度は何ですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 元号                      2. 律令                      3. 班田収授法                      4. 租・庸・調

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 大化の改新	中国で唐が成立し、朝鮮半島の高句麗を攻撃したことで、東アジア全体の国際情勢は非常に不安定になりました。日本はこの危機を乗り越えるため、豪族が権力を握る古い政治体制を改め、土地と人民を国家のものとする公地公民や、天皇を中心とした中央集権的な仕組みを作ることを決断しました。これが645年から始まる大化の改新であり、唐などの対外勢力に対抗するための国家改革という側面を持っていました。
問2	<b>答え 1</b> 中大兄皇子	663年の白村江の戦いで敗北した後、中大兄皇子は唐や新羅による日本本土への侵攻を強く警戒しました。そのため、大宰府を防御するための「水城」や西日本各地の「山城」を築くとともに、東国から集めた農民を「防人」として九州北部の警備にあたらせました。彼は後に天智天皇として即位し、近江大津宮へと遷都しました。
問3	<b>答え 1</b> 飛鳥浄御原令の編纂や、日本初の本格的な都とされる藤原京の造営に着手した。	壬申の乱に勝利した天武天皇は、律令の先駆けとなる飛鳥浄御原令の編纂を命じ、より強力な中央集権体制を象徴する藤原京の建設を進めました。他の選択肢は、それぞれ聖徳太子、聖武天皇、桓武天皇の事績です。
問4	<b>答え 1</b> 氏姓制度による世襲制の弊害を抑え、個人の能力や功績に応じて人材を登用することで天皇の権力を強めるため。	当時の日本は、有力な豪族が代々特定の官職を独占する氏姓制度が中心でした。聖徳太子は冠位十二階を導入することで、家柄に関わらず有能な人材を政府の中枢に集め、天皇による統治をより確実なものにしようと図りました。
問5	<b>答え 1</b> 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。	7世紀、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を拡大し、倭と親交のあった百済を滅ぼしました。倭は百済復興のために軍を派遣しましたが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。これにより本土への侵攻を恐れた天智天皇（中大兄皇子）は、大宰府を守るための「水城」や、西日本の各地に「朝鮮式山城」と呼ばれる城を築き、国防を急ぎ整えました。選択肢にある「防塁」は鎌倉時代の元寇に対する備えであり、時代背景が異なります。
問6	<b>答え 1</b> 大宝律令	唐の「律（刑罰規定）」と「令（行政規定）」を参考にして、日本で初めて本格的に整備された律令です。この法典の完成により、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則に基づいた律令国家の仕組みが形作られました。
問7	<b>答え 1</b> 冠位十二階	聖徳太子は、推古天皇のもとで天皇中心の国づくりを進めるため、603年にこの制度を整えました。それまでの「氏姓制度」が家系や血縁を重視していたのに対し、個人の實力を評価して官位（位）とそれに応じた色の冠を授けることで、有能な人材を確保しようとした。
問8	<b>答え 1</b> ①：唐、②：新羅	7世紀後半、唐は朝鮮半島の新羅と結んで百済と高句麗を滅ぼしました。その後、新羅は唐の勢力を半島から退けて統一を果たします。8世紀は、中国では唐が全盛期を迎え、朝鮮半島では統一新羅が安定した統治を行っていた時期に当たります。
問9	<b>答え 1</b> 元号	645年の改革に際し、日本で最初の元号として「大化」が定められました。これは、天皇が空間だけでなく「時間」も支配するという考え方に基づいたものです。以後、一部の中断を除いて現代まで元号の制度は引き継がれています。